

継続的な地域ファン創出を支援する 「ふるさと納税特設サイト運用サービス」を提供開始

～ 山梨県富士川町の特設サイトを公開し、
地域情報コンテンツ企画から集客・効果測定までを一体的に支援 ～

BIPROGY は、継続的な地域ファン創出を支援する「ふるさと納税特設サイト運用サービス」の提供を開始し、本サービスを活用した山梨県富士川町のふるさと納税特設サイトを公開しました。

ふるさと納税を取り巻く環境が変化する中、自治体には運営費用の適正化に加え寄附者との継続的な関係づくりや地域ファンの創出が一層求められています。

「ふるさと納税特設サイト運用サービス」は、低コストで特設サイトを構築・運用できることに加え、地域情報コンテンツの企画・制作、集客施策の立案・実行、効果測定までを一体的に支援するサービスです。ふるさと納税以外のさまざまな地域サービスとの連携機能により、寄附をきっかけとした寄附者との継続的な関係づくりを支援します。

BIPROGY は、本サービスを通じて自治体と寄附者との継続的な関係構築を支援し、地域ファンの創出と地域活性化に貢献していきます。

【背景】

ふるさと納税市場の拡大に伴い、多くの自治体が寄附獲得に取り組む一方で、寄附者との継続的な関係構築や地域への愛着形成が課題となっています。また、2026 年 10 月以降は、ふるさと納税運営経費の上限が段階的に引き下げられることが予定されており、自治体には効率的な運営と独自の集客基盤の構築が求められています。

BIPROGY は、2025 年から一般社団法人全国地域ビジネス協会と共に「地域公社アドバイザー支援」を提供し、茨城県境町で培われた地域活性化やふるさと納税運営のノウハウを全国へ展開しています。今回提供するサービスは、茨城県境町での取り組みを発展させ、ふるさと納税の寄附を起点とした地域との新たな関係づくりを支援するものです。

【概要】

「ふるさと納税特設サイト運用サービス」は、一般的なサイトの構築・運用に加え、地域情報コンテンツの企画・制作、集客施策の立案・実行、効果測定までを一体的に支援するサービスです。自治体独自サイトで課題となりがちな集客施策の実行や、寄附者との継続的な関係づくりを可能にします。単なるシステム提供にとどまらず、自治体と伴走しながら、寄附者との継続的な関係構築を通じた地域ファンの創出と寄附獲得の両立を目指します。



富士川町ふるさと納税特設サイト（トップページ）

■本サービスの3つの特徴

1. 手頃なシステム利用手数料と集客サポート

一般的なふるさと納税ポータルサイトと比較して、ふるさと納税特設サイトを低コストで運営できる環境を提供します。また、コンテンツ制作、広告施策立案などの集客支援により、寄附者獲得をサポートします。

2. 地域情報総合サイトとしての機能拡張と生成 AI 活用

特設サイト内で、観光、イベント、特産品、移住などの地域情報を発信することで、地域への興味・関心を高め、継続的な寄附や地域訪問につなげます。また、生成 AI を活用したコンテンツ企画・制作により、情報発信業務の効率化を支援します。

3. 地域ファンの可視化と統合管理

特設サイト訪問者や寄附者との関係を継続的に管理し、地域ファンの創出・拡大を支援します。デジタル住民票や行動データの活用により、地域との関係性を可視化し、寄附のリピート促進や地域活性化施策の立案に生かします。

【今後の取り組み】

BIPROGY は、茨城県境町および山梨県富士川町での取り組みをもとに、本サービスの全国展開を推進していきます。地域情報発信や集客支援、地域ファン管理機能の強化を通じて、寄附獲得にとどまらない地域との継続的な関係づくりを支援し、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

以 上

■関連リンク：

・山梨県富士川町ふるさと納税特設サイト <https://furusato-fujikawa.jp>

・2025年5月19日付ニュースリリース

持続可能な地域社会の実現に向け、茨城県境町での成功ノウハウを体系化した「地域公社アドバイザー支援」を提供開始

https://www.biprogy.com/pdf/news/nr_250519.pdf

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係者お問い合わせ窓口>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

BIPROGYグループの「経営方針（2024-2026）」

「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」、「経営資源配分の最適化」、「グループ経営基盤の強化」の3つの基本方針を基軸に、「コア事業」と「成長事業」の両輪で事業拡大を図ります。

コア事業

集中と選択により強みのある領域を確立し
提供価値と収益性を高める

- ・注力領域の明確化により強みある領域の確立
- ・開発生産性・安定性の向上
- ・サービス型ビジネスの拡大

ファイナンシャル

リテール

エネルギー

モビリティ

OTインフラ

成長事業

積極的な投資により提供価値を高め
新たな収益基盤を確立する

- ・新たなサービス領域の獲得と成長市場におけるシェア獲得
- ・社会課題を解決する社会DX事業の共創・展開の加速
- ・ASEAN主要国でのビジネス展開

市場開発

事業開発

グローバル

【成長事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針（2024-2026）で掲げる成長事業において、三つの重点戦略を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「事業開発」（地域創生分野）における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、社会課題解決における社会的価値と経済的価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>